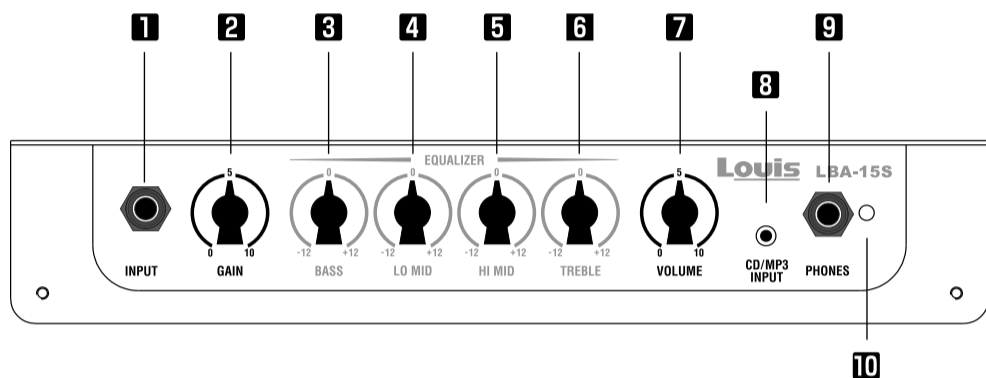


仕様

商品名	: エレクトリック・ベース・アンプリアイアー LBA-15S
電圧	: 100V、50/60Hz
定格出力	: 15W
入力インピーダンス	: 1MΩ
出力インピーダンス	: 2 × 4Ω
スピーカー	: 2 × 4Ω, 3"
コントロール	: GAIN、BASS、LO MID、HI MID、TREBLE、VOLUME
入力端子	: INPUT (BASS用)、CD/MP3 INPUT
出力端子	: PHONES
ヒューズ	: 250V/500mA
サイズ	: H347 × W204 × D240mm (製品)
重量	: 6kg (net weight)
付属品	: 電源コード、取扱説明書/保証書

※製品の仕様は品質向上のため予告無く変更する場合があります。

各部の名称と機能



1 INPUT ジャック

フォンジャックの入力端子です。シールド・ケーブルを用いてベースと接続してください。

2 GAIN コントロール

プリアンプのゲイン・レベルを調整します。右に回すと徐々にゲイン・レベルが上がり、サスティーンとドライブ感のあるサウンドに変わります。

3 BASS コントロール

低音域をコントロールします。5の位置を中心に右に回すと低音域が増え、左に回すと低音域が減ります。

5 HI MID コントロール

高中音域をコントロールします。5の位置を中心に右に回すと高中音域が増え、左に回すと高中音域が減ります。

7 VOLUME コントロール

出力レベル(音量)をコントロールします。

9 PHONES ジャック

ヘッドホンを接続する端子です。標準フォンジャックのヘッドホンに接続して下さい。なお、PHONES ジャックにヘッドホンに接続すると、アンプのスピーカーから音が出なくなります。

4 LO MID コントロール

低中音域をコントロールします。5の位置を中心に右に回すと低中音域が増え、左に回すと低中音域が減ります。

6 TREBLE コントロール

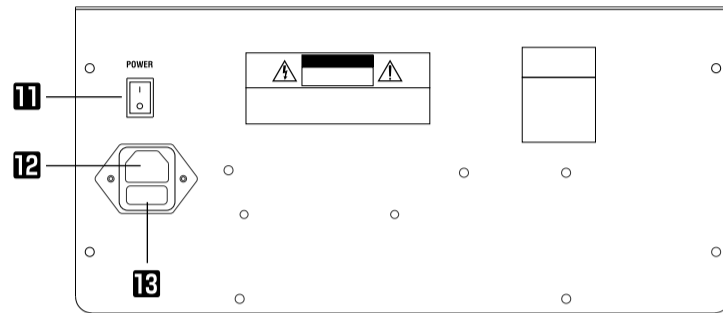
高音域をコントロールします。5の位置を中心に右に回すと高音域が増え、左に回すと高音域が減ります。

8 CD/MP3 INPUT ジャック

ミニフォン・プラグにて外部オーディオ機器と接続し、アンプでベース・サウンドとミックスさせることができます。ボリューム、音質などは外部オーディオ機器側で調整してください。

10 LED インジケーター

電源オン時に点灯します。



11 POWER スイッチ

電源のオン・オフを切り替えるスイッチです。POWER スイッチがオン(上)の状態です。音を出すことができます。アンプを使用しないときはスイッチをオフ(下)に切ってください。

⚠ POWER スイッチをオンにする前に、必ず VOLUME コントロールが "0" であることを確認してください。VOLUME コントロールが上がった状態で電源をオンにした場合、突然大きな音が出され、使用者の聴覚を害する恐れがあります。また突然の過大入力によりスピーカーが損傷することがあります。

12 電源コード・ソケット

付属の電源コードを差し込み、反対側をコンセントに差し込んで使用してください。

13 ヒューズ

電気系統に規定以上の電流が流れると、ヒューズが切れて過電流から電装品を保護し故障、火災などの発生を防ぎます。もし電源が入らない場合はコンセントを抜いてから、ヒューズの点検・確認を行ってください。また定格を超えたヒューズを使用しないでください。

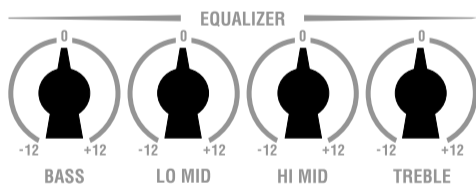
※機器の安全の為にヒューズが装備されています。ヒューズは外部の衝撃や寿命で切れることもあります。内部に重大な故障が発生している可能性がありますのでヒューズを交換する前に販売店にご相談ください。

セッティング例

使用するベースによって音色は変わりますが、ここではトーンコントロールの調整による音作りの例をご紹介します。

基本となるセッティング

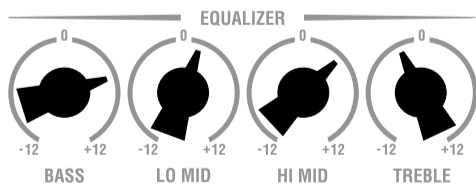
まずはそれぞれのコントロールをフラットにして LBA-15S の基準となる音を知りましょう。
BASS → 0、LO MID → 0、HI MID → 0、TREBLE → 0



※ INPUT に大きな音を入力したり元々歪んだ音を入力したりすると、意図したクリーン・サウンドにならないことがあります。詳しくは「故障かな?と思ったら」の「■クリーントーンのセッティングでも音が歪む」の項をお読み下さい。

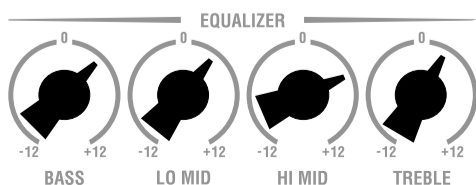
ピックで演奏するときのセッティング例

ピックをボディのどの位置で弾くかで音色の変化はありますが、基本的にはアタックが強くシャープな音になるので、TREBLE の上げすぎには注意しましょう。音に重量感を出すために少し BASS を上げるとよいでしょう。
BASS → +6、LO MID → +1、HI MID → +5、TREBLE → -2



2フィンガーで演奏するときのセッティング例

ピックと同様にボディのどの位置で弾くかで音色の変化はありますが、ピックよりはやわらかい音が出ますので、TREBLE を少し上げるとよいでしょう。
BASS → +4、LO MID → +4、HI MID → +6、TREBLE → +4



故障かな?と思ったら

■ 電源が入らない。

- ・コンセントに電源プラグは入っていますか?
- ・電源コードソケットから電源プラグは抜けていませんか?
- ・ヒューズは切れていませんか?

■ 電源が入るがスピーカーから音が出ない。

- ・ベースのボリュームが "0" になっていませんか?
- ・アンプの GAIN コントロール、VOLUME コントロールが "0" になっていませんか?
- ベースのボリューム、アンプの GAIN コントロール、VOLUME コントロールを徐々に上げていき音が出るかご確認ください。

- ・ベースまたはエフェクターの出力が INPUT ジャックに正しく接続されていますか?
- INPUT ジャックにプラグが正しく挿入されているかご確認ください。またエフェクターをご使用の際はエフェクターの出力 (OUTPUT) 側からアンプにつながっているかご確認ください。

- ・エフェクターなどの機器を接続している場合、それらが正常に動作していますか?
- 接続している機器を全て取り外し、ベースからアンプへ直接接続した状態で音が出るかご確認ください。

- ・ベース、アンプ間のシールド・ケーブルが断線、または損傷していませんか?
- 一度他のケーブルでもお試しください。

■ ノイズが出る。

- ・アンプの出力により周囲のものが振動(共振)して音を出していませんか?
- 設置方法、設置場所によって音色が異なって聞こえる場合がありますので設置方法、設置場所を変えて確認ください。

- ・エフェクターなどの機器を接続している場合、それらが正常に動作していますか?
- 接続している機器を全て取り外し、ベースからアンプへ直接接続した状態でノイズが出るかご確認ください。

- ・ベース、アンプ間のシールド・ケーブルが断線、または損傷していませんか?
- 一度他のケーブルでもお試しください。

- ・ベースの弦高が正しく調整されていますか?
- 弦高が低すぎると、弦が指板に当たりノイズが発生することがあります。

■ クリーントーンのセッティングでも音が歪む。

- ・ベースやエフェクターの出力が大きくなりすぎていませんか?
- お使いのベースの種類や接続する外部機器(エフェクターなど)によっては、出力が大き過ぎるために歪みを起こす場合があります。この様な場合には、ベースのボリュームを下げる、または接続した外部機器の出力レベルを下げるなどして音量を下げてお使い下さい。

- ・電池を搭載しているベースの場合、電池残量は大丈夫ですか?
- 電池残量が少ないと、小さな音でも歪んだ状態になります。新しい電池に取り替えてからお試し下さい。

■ 故障などの場合

この製品は、厳重に検査を終えた上で出荷されております。故障かな?と思ったら、お手数ですが上記の項目をぜひご確認ください。確認後、故障の原因が分からない場合は、お買い上げいただいた販売店にお尋ねください。また、修理をご依頼の際は、速やかに修理を行えるよう、症状を詳しくお伝えくださいますようお願い申し上げます。